

## 令和5年度鹿児島県地方創生推進有識者懇話会 議事要旨

### 1 開催日時

令和5年8月1日（火）14:30～16:30

### 2 開催場所

鹿児島県庁6階大会議室

### 3 議事概要

#### (1) 前田総合政策部長あいさつ

#### (2) 効果検証及び意見交換

- ・ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）  
（令和4年度実績）について（資料1）
- ・ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）  
（令和4年度実績）について（資料2）
- ・ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）（令和4年度実績）について  
（資料3）
- ・ 第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略における「目指すべき  
結果（評価指標）」の令和4年度実績について（資料4）

### 4 主な意見等

《デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）について（資料1）》

- かがしまUIターン移住・就業支援事業/かがしま地域課題解決型起業支援事業
  - ・ 国の移住支援金は支給要件のハードルが高いので、同制度の対象にはならないが、それでも本県への移住を希望する人達を把握できるような取組が重要である。
  - ・ 求人数をKPIに設定しているが、実際にどの程度雇用の実現に結びついていくかという成果の把握や、その成果に対する評価も必要ではないか。
- プロフェッショナル人材戦略拠点事業
  - ・ 事業承継の支援については、豊富なデータを持っている各地域の商工会議所や金融機関などとも連携して、広域的に取り組む必要があるのではないか。
- オリンピック・パラリンピックを契機とした観光成長&県産品販路開拓プロジェクト
  - ・ 観光でインバウンドを増やすには、鹿児島空港への直行便の再開や、福岡や東京への旅行者を鹿児島に引き入れる対策が必要なのではないか。
  - ・ クルーズ船については、寄港数や乗客数だけでなく、費用対効果も含めた経済効果を評価することも必要なのではないか。

《デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）について（資料2）》

- ・ お茶は県の基幹産業であり、将来的に良い有機茶をどういう形で市場に出すかということまで考える必要があるのではないか。

《地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について（資料3）》

○ かごしまの未来を担う人材育成プロジェクト

- ・ 毎年社会減で人口が減少しているが、鹿児島のことを若い時期や小さい時期から勉強してもらい、鹿児島の素晴らしい点や問題点を認識させ、高校卒業後の県外流出に歯止めをかける必要があるのではないか。
- ・ 若い、幼い頃から鹿児島のことや鹿児島の企業について接する機会を教育上作っていくことが大事であり、鹿児島で働くこと、生きることの良さを、若い世代にいろいろなチャンネルを作って伝えていくことが必要なのではないか。
- ・ 学生たちは、インターンシップが大事だと考えているので、マッチングサイトにはインターン情報をもっと掲載してほしい。
- ・ 農業関連産業においても人手不足が発生しており、高校生の県内就職も含め、若い人達が地元に残るための施策に手を尽くしていく必要があるのではないか。

《第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略における「目指すべき結果（評価指標）」について（資料4）》

○ 一般廃棄物排出量（総量）等について

- ・ 県内の市町村のごみの分別、資源化が進んでいない。燃やしているところが多いのではないかと思うので、各市町村に対して、県が統一見解を出して指導しながら、リサイクル、ごみの分別、ごみの資源化を促進してほしい。

《まとめ》

外部有識者からの評価として、前年度に地方創生関連交付金等を活用して実施した事業のうち、新型コロナウイルスの影響により目標値に届かなかったものについては「新型コロナウイルスの影響により効果の発現は十分ではないものの、総合戦略の目標達成に向けて有効であった」、それ以外の事業については「総合戦略の目標達成に有効であった」との取りまとめがなされた。